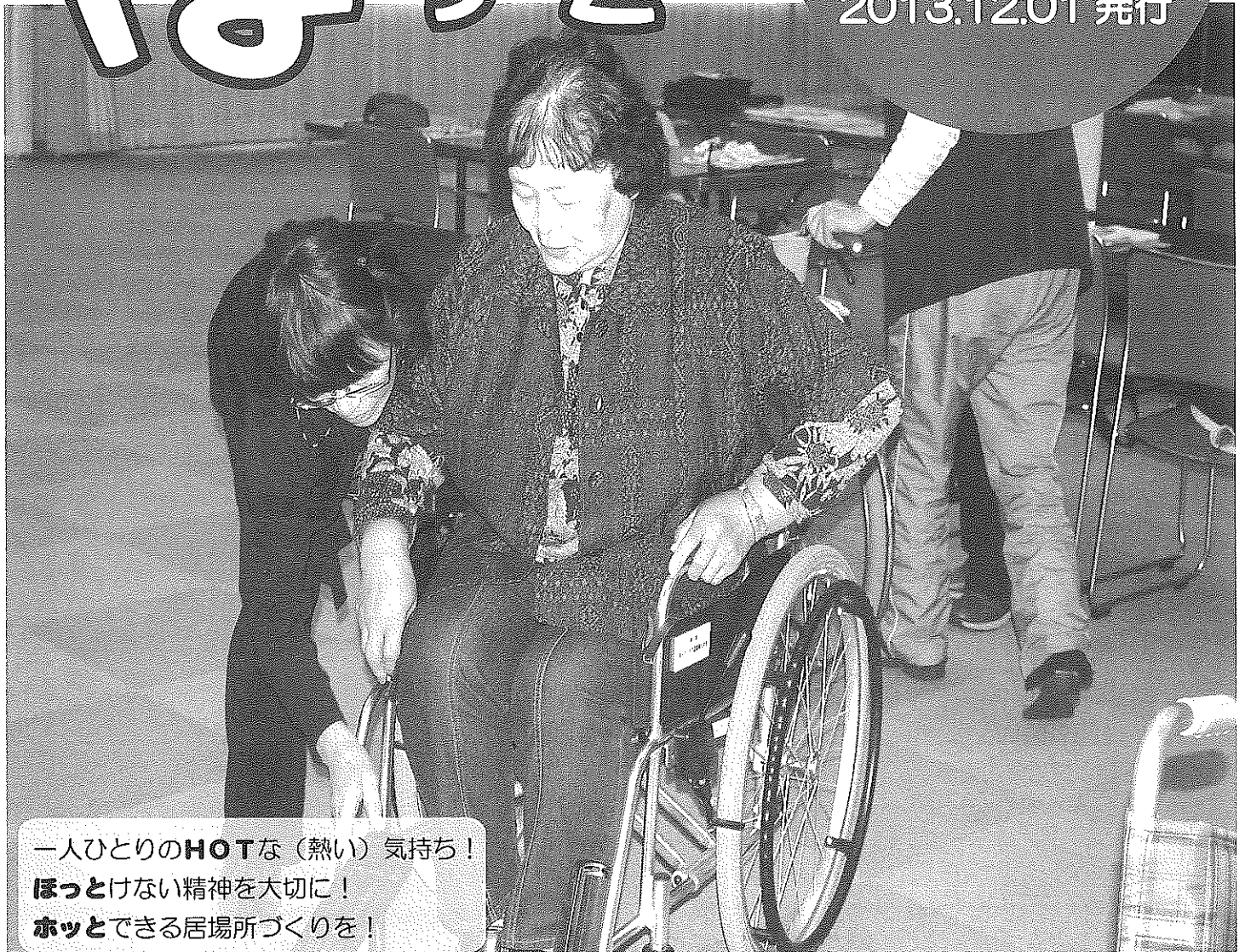


ほっと



第21号

2013.12.01 発行



一人ひとりのHOTな（熱い）気持ち！
ほっとけない精神を大切に！
ホッとできる居場所づくりを！

登別市ボランティアセンター情報誌『ほっと』。登別のボランティアを元気にするため、毎回情報満載でお送りしています。

今回の表紙は「ときめき大学 出前福祉講座」の様子。当事者の方が講師となり、実際に車イスを押したり乗ったりして、車イスユーザーの視点を参加者の方々に体験してもらいました。講座の詳しい内容は特集をご覧ください。

もくじ

- P2 ●特集 出前福祉講座 ときめき大学講座
- P3 ●ハンズメイト 道新ボランティア奨励賞受賞報告
- P3 ●ボランティアアドバイザーコラム にこにこ日記
- P4 ●平成25年度ボランティアアドバイザー養成研修会
- P4 ●ボラ情報募集！！

社会福祉法人 登別市社会福祉協議会 登別市ボランティアセンター

〒059-0016 登別市片倉町6-9-1 登別市総合福祉センターしんた 21 内

【TEL】0143-88-2080 【FAX】0143-88-4546 【E-mail】info@kizuna-shakyo.main.jp 【HP】http://kizuna-shakyo.main.jp/

【相談時間】平日9:00～17:30 土日祝日・年末年始はお休みです。

この情報誌の発行は、赤い羽根共同募金の支援を受けています。

特集！ ときめき大学 出前福祉講座

登別市ボランティアセンターでは、障がいのある当事者団体やボランティア団体の協力のもと、小学校などで出前福祉講座を行っています。

今回は、登別ときめき大学からの依頼を受け「身近な場所を見直そう」をテーマにバリアフリーネットワークつばさの会の方々が講師となり車椅子試乗体験を通して市民会館のバリアフリーについて学びました。

ふくしの心を考える 実践発表・講話

①つばさの会の紹介

亀田記念公園のバリアフリー化活動や総合学習の支援活動について学びました！！

②車椅子ユーザーの講話

障がいを抱えて暮らす背景や日頃不便に感じることをみんなで考えました！！

③ボランティア活動者の講話

ボランティアを始めるきっかけや活動するうえで大切なことを学びました！！

違う目線を感じよう 車椅子試乗体験

①車椅子の操作方法などの講話

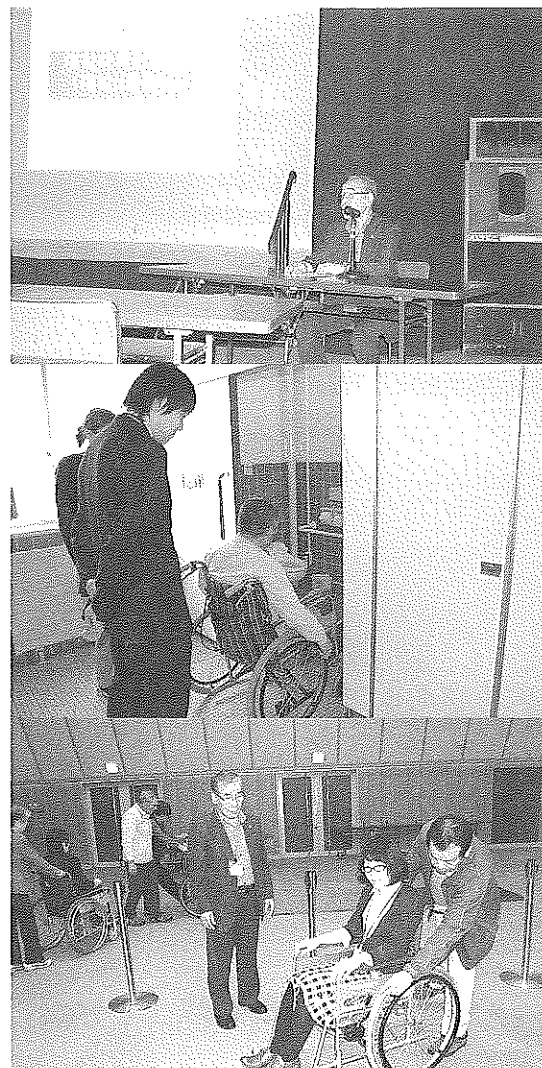
車椅子ユーザーの方から車椅子の乗り方、操作の仕方、たたみ方等の基礎を学びました！！

②簡単な操作の練習

相手の立場になって考えるハートバリアフリーの大切さを学び、実際に試乗体験しました！！

③市民会館と周辺試乗体験

市民会館のトイレや玄関のほか周辺道路などのバリアフリーの状況を確認しました！！



参加者の声

- 講義を通して障がい者である講師の方々が、すぐく前向きな生き方をされていることを知って感銘を受けた。
- 車椅子の使い方が意外と難しいことに気づけたので参加して良かった。
- 車椅子ユーザーに対する、何気ない心遣いとコミュニケーションが大事だということを感じた。
- 1cmの段差が車椅子ユーザーにとっては大きな段差だということが分かった。

出前福祉講座を実施しませんか？

出前福祉講座では、市民の福祉意識の向上をめざし、総合的な学習の時間等の講座の企画・検討や講師や協力者との連絡調整、資材の貸出等お手伝いをしています。

講座では、車椅子試乗体験のほか、ガイドヘルプ体験、点訳体験、手話体験など、障がいのある当事者との交流を大切にしています。

出前福祉講座の相談は登別市ボランティアセンターまで。

TEL: 88-2080



★奨励賞を受賞しての感想★

私たちは、身体の不自由な方の衣類を着脱しやすいようにリフォームをする活動を行っています。

私たちの活動が認められ、ボランティア奨励賞を受賞させて頂いたおかげでミシンを3台購入し、活動がしやすくなり、とても嬉しく思っています。

まだまだ、私たちの活動を知っている人が少ないので、今後は様々な方に活動を知って頂けるように、ますます頑張りたいと思います。

ハンズメイト 代表 渋谷 馥さん

道新ボランティア奨励賞とは...

積極的にボランティア活動を続けている団体に北海道新聞社会福祉振興基金が活動を奨励するとともに北海道の社会福祉の向上を支援することを目的とする賞です。



↑毎月第2第4月曜日に活動しているハンズメイトの様子

ボランティアアドバイザーコラム

にこにこ日記 No.19

木村 節子さん

私は、もともと障がいがあり車椅子で生活を送っていましたが、私自身が「障がい者」という意識は無く、友人も私のことを特別な目では見ていませんでした。ある時、亀田公園のバリアフリー化を求める方から、「車椅子でも亀田公園でトイレや散歩ができるかい?」と尋ねられ、そこで改めて私は他人から見ると「障がい者」なんだと気づかされました。

でも、障がいがあるからこそ、その経験が活かせるのではないかと、そのことで何か社会に役に立てるのではないだろうかと思い、思いきって亀田公園のバリアフリー化運動に携わったことが、今のボランティア活動を始めたきっかけになっています。

私たちの会では、ボランティアをしたい人と、して欲しい人が合わさってできた会で、何かできることは障がいの有無に関わらず、社会の一員として一緒に活動を行っています。

活動を行っていく中で、障がいのある人達と同じ悩みを共有したり、お互いに情報交換をし支え合っていく中で一緒に活動することの楽しさや、何か役に立つのであれば色々なボランティアに参加してみたいと思えるようになりました。

会に限らず人と人との交流や出会いがあり、それぞれの持っている意見を交換することができるのがボランティアの大きな魅力の一つだと思います。



バリアフリーネットワーク

つばさの会

心身にハンディキャップを持つ方とその家族、介護者、市民の方との交流を図り、住みよく、優しいまちづくりを目指してハートのバリアフリーを願って活動しています。

活動日 : 年10回程度活動
活動場所 : 学校や施設など
問合せ : 登別市ボランティアセンター
(☎88-2080)

平成25年度 ボランティアアドバイザー養成研修会

1/24

金曜日開催!



登別市ボランティアセンターでは、ボランティア活動への意欲や不安・疑問を持つ人の相談に応じ「想い」を行動に繋げていく人を「ボランティアアドバイザー」と位置付けています。この研修会では、ボランティア活動に関わる多くの方々がアドバイザーとしての役割やスキルを学び、市内のボランティア活動のより一層の推進を図るための場とし、今回は「ボランティアアドバイザーの役割について学び、自分にできることを考える」をテーマに開催します！ボランティア活動している人も、これから活動したいと思っている人も参加OK！皆様のご参加お待ちしております！

日時 平成26年1月24日(金) 10:00~15:30

会場 登別市総合福祉センターしんた21 2階 多目的ホール

内容	9:30~10:00~	10:20~	11:00~	11:50~	12:30~	15:20~	15:30
	受付	オリエンテーション ボランティアセンターについて	実践発表	講義	休憩	演習	事務連絡 閉会

【実践発表】 道新ボランティア奨励賞 受賞

- ・ 渋谷 馥 氏 (ハンスメイト)
- ・ 榎本 吉幸 氏 (パソコンボランティアプラザ)

【講師】 佐藤 大介 氏 (特定非営利活動法人 Facilitator Fellows)

- 対象
- ① ボランティアアドバイザーまたはボランティアアドバイザーになりたい方
 - ② ボランティア活動に興味・関心のある方
 - ③ 町内会等、地域の福祉活動に参加している方、興味・関心のある方等

定員 30名程度 ※参加費無料 (昼食については各自でご用意します)

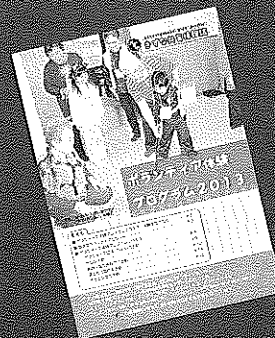
申込締切 平成26年1月17日(金)
(※登別市ボランティアセンターまで電話・FAX・メール・来所等でお申込み下さい)

ボラ情報募集!!

この情報誌では、ボランティア団体・施設・サロン等からのお知らせ・イベントのご案内等さまざまな情報を掲載していきます！情報誌発行の2週間前までに掲載したい情報をお知らせください。

※ページ数に限りがあるためご希望に添えない場合もございます。また、内容によっては掲載できかねる場合もございます。あらかじめご了承ください。

ボランティア体験プログラム まだまだ参加者募集中!!



1日から気軽にボランティア活動を体験できる「ボランティア体験プログラム」を実施しています。冬休みや春休みを利用して、ボランティア活動を体験してみませんか？体験メニューは7月発行の「ぎすな共有情報誌」に掲載しています。ご参加お待ちしております！

情報誌ご希望の方はボランティアセンターまでご連絡下さい！HPにも掲載しています。

【問合せ】
登別市ボランティアセンター
TEL: 88-2080 FAX: 88-4546



次回ほととぎす発行日は2月1日です!

情報誌発行予定

登別市ボランティアセンター情報誌ほととぎす

2月1日
(登録団体・個人への送付・公共施設への設置等一部配布です)

ほととぎす郵送ボランティア募集!!

仲間と交流しながら楽しく活動しませんか?

【内容】情報誌の折込・郵送準備

【日時】1月30日、31日 18時~20時頃まで

【場所】しんた21キッドルーム